

テーマ	全経対策 (V)：その他期中取引・固定資産・有価証券・租税公課・引出金・特殊商品売買						
学籍番号	/	/	/	/	/	氏名	

1. 次の取引について仕訳を示しなさい。(全経 3 級対策)

- (1) 経法銀行より 1,000,000 円を約束手形を振り出して借り入れ、利息を差し引かれた手取金を当座預金とした。なお、借入期間は 73 日、利率は年 7%である (1 年は 365 日とする)。
- (2) 八尾商店から商品 800,000 円を仕入れ、代金のうち 200,000 円は注文時に支払った手付金と相殺し、300,000 円は花岡商店振出、当店受取の約束手形を裏書譲渡し、残額は翌月払いとした。
- (3) 出張中の従業員から振り込まれた 300,000 円 (仮受金で処理済) のうち、200,000 円は得意先からの売掛代金の回収であり、残額は商品代金の内金であることが判明した。
- (4) さきに売買目的で額面 100 円につき 96 円で買い入れた楽音寺食品株の社債のうち、額面総額 4,000,000 円を額面 100 円につき 97 円で売却し、代金は月末に受け取ることにした。
- (5) 売買目的で当期中に取得した北本町商事株 750 株 (購入単価@300 円、購入手数料 15,000 円) のうち、200 株を 1 株あたり 365 円で売却し、代金は月末に受け取ることにした。
- (6) 店舗の火災保険料 90,000 円と店主の生命保険料 60,000 円を小切手を振り出して支払った。なお、資本の引き出しについては、引出金勘定を使用して処理すること。

	借方		貸方	
(1)	当座預金 支払利息	986,000 14,000	手形借入金	1,000,000
(2)	仕入	800,000	前払金 受取手形 買掛金	200,000 300,000 300,000
(3)	仮受金	300,000	売掛金 前受金	200,000 100,000
(4)	未収金	3,880,000	売買目的有価証券 有価証券売却益	3,840,000 40,000
(5)	未収金	73,000	売買目的有価証券 有価証券売却益	64,000 9,000
(6)	支払保険料 引出金	90,000 60,000	当座預金	150,000

テーマ	全経対策 (V)：その他期中取引・固定資産・有価証券・租税公課・引出金・特殊商品売買				
学籍番号					氏名

2. 次の取引について仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は次の中から選ぶこと。(全経 2 級対策)

積送品	未着品	前払金	現金	当座預金
売掛金	買掛金	積送品売上	未収金	仕入
割賦売掛金	割賦売上	未払金	未着品売上	受取手形

- (1) 八尾商店は、委託販売のため花岡商店に商品 250,000 円を発送した。発送に伴う諸費用 30,000 円は、小切手を振り出して支払った。
- (2) かねて楽音寺商店に委託販売のために送付していた商品（仕入原価 200,000 円、発送に伴う諸費用 6,000 円）について、同店から売上計算書とともに手取金 270,000 円が同店振り出しの小切手で送られてきたので、ただちに当座預金に預け入れた。なお、販売を委託した商品の原価は販売のつど、仕入勘定に振り替えること。
- (3) 北本町商店は、委託販売のため阪南商店に商品 300,000 円を発送した。発送に伴う諸費用 25,000 円は、小切手を振り出して支払った。
- (4) 経法商店は、瓢箪山商店に商品 250,000 円を注文し、貨物引換証を受け取っていたが、商品到着前に山本商店に貨物引換証を 300,000 円で売却し、代金は同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。未着の商品の原価は、仕入勘定に振り替えること。

	借方	貸方
(1)	積送品 280,000	仕入 250,000 当座預金 30,000
(2)	当座預金 270,000 仕入 206,000	積送品売上 270,000 積送品 206,000
(3)	積送品 325,000	仕入 300,000 当座預金 25,000
(4)	当座預金 300,000 仕入 250,000	未着品売上 300,000 未着品 250,000